

令和5年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月8日実施)	総合評価 (3月22日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①生徒が自ら課題を発見し、解決する力や思考力・判断力・表現力等を育み探究する力の育成を目指した授業改善を行う。</p> <p>②時代や社会の変化に柔軟に対応できる資質・能力の育成のための教育課程の編成に取り組む。</p>	<p>①知識や技能を活用した対話的な学びを共通の授業研究テーマと定め、すべての教科で組織的な授業改善に取り組む。</p> <p>②77期生、78期生の新教育課程実施を踏まえ、学校全体で情報共有の機会を設ける</p>	<p>①授業見学会や協議会、作問研究会を実施し、職員全体で授業改善への意識を高めるとともに、授業記録のアーカイブ化に取り組む。</p> <p>②6月の選択科目説明会の前に、教科会や学年会を通して、新教育課程への理解を深める</p>	<p>①授業記録をアーカイブ化できたか。生徒による授業評価アンケートの結果が改善されたか。</p> <p>②教科会や学年会での情報共有により得た課題等を、新教育課程編成にいかすことができたか。</p>	<p>①授業観察シートをファイルにまとめ、作問研究会や授業研究協議会の開催を通して授業についての情報共有を充実させた。</p> <p>②教育課程上の課題解決のために、次年度から3年生でコース制を導入することを決めた。</p>	<p>①職員全体で授業改善の意識を高めるために、授業改善のテーマ設定をさらに工夫する必要がある。</p> <p>②コース制導入の効果を検証し、再来年度以降の教育課程にどのように位置づけていくかを検討する。</p>	<p>①1年間の授業研究において、指導と評価の計画を共有し、作問研究会を実施する等工夫が見られた。</p> <p>②学校教育目標を達成するための教育課程として、工夫されており期待できる。</p>	<p>①授業研究協議会や作問研究会を開催し、授業改善に生かした結果、「生徒による授業アンケート」の「主体的に取り組む態度」に関する項目で5ポイント以上有意な変容があった科目が5科目であった。</p> <p>②次年度から3年生でコース制を導入し、きめ細かな指導を行う。</p>	<p>①②有識者等に授業研修協議会における指導・助言をもらう機会を設ける。</p>
2 (幼児・児童・)生徒指導・支援	<p>①生徒主体の学校行事や生徒会活動で培った力を学校生活や学習活動に生かせる生徒集団を育成する。</p> <p>②部活動の活性化を図り、安全面に配慮した活動や他者に対する思いやりのある行動ができる力を育成する。</p> <p>③健康や安全に関する学習活動や支援を通じ、生徒が安心して学校生活を送れる環境を整える</p>	<p>①安全に配慮し、安心して学校行事、生徒会活動ができるように工夫する。行事を上手に進めることができる生徒リーダーの育成や責任を持つて取り組むことができる支援をする。</p> <p>②顧問総会や部員総会で安全面での配慮や規定順守の共通理解を図りながら支援する。</p> <p>③新型コロナウイルスの2類から5類への移行に伴う新しい生活様式を周囲の状況を見ながら策定していく。安全に関する各種講演会、学習会をより充実させ生徒の意識を涵養する。課題のある生徒の情報共有と支援を組織的に実施する。</p>	<p>①バランスの取れた学校行事や生徒会活動を検討する。特に今年度は体育祭と文化祭の時期が変更になるため、感染防止対策を再考する。</p> <p>②顧問総会や部長会を定期的実施し、主体的に安全対策や部室管理を行うよう支援する。</p> <p>③「性に関する講演会」「交通安全・スマートフォン等の安全に関する学習会」「薬物防止学習会」等、日常の生徒の課題を念頭に企画、実施する。学年団、教育相談校ディネーター、SC、SSWが連携しより有機的な支援を推進する。</p>	<p>①リーダーとなる生徒が活動のねらいや感染症対策を理解し活動したか。グループと学年がリーダーの育成を支援できたか。</p> <p>②部活動での傷病予防、熱中症予防、感染症防止対策を生徒自ら考え、適した環境を整備できたか。部活動運営や地域にも貢献する意識を高めることができたか。</p> <p>③講演会、学習会の実施状況及びアンケートによる生徒の理解が見られたか。SC、SSWの利用状況と学校全体での情報共有と支援の組織的取り組み状況が昨年より充実したか。</p>	<p>①学校行事・生徒会活動を通して、主体性及び自他を尊重する態度の育成という目標に向けて支援し、リーダーの育成につなげた。文化祭・体育祭・球技大会などの学校行事を、感染症防止対策を講じて進めた。</p> <p>②顧問総会や部長会を通して、傷病予防、熱中症対策、感染症防止対策を充実させ、安全面に配慮した活動や運営を支援した。</p> <p>③性に関する、薬物乱用防止、自転車安全、携帯安全に関する講演会、学習会を実施した。SC、SSWの利用はそれぞれ90、62回であり、多くの生徒が活用した。サポートドックを2回実施し、課題のある生徒について、各学年団と情報を共有した。</p>	<p>①学校行事や部活動に主体的、積極的に参加できる状況を更に支援する。安全に配慮し、安心して学校行事・生徒会活動に取り組めるよう、生徒を見守る体制を整備する。</p> <p>②今後も命の尊重、傷病予防・応急手当等についての理解を深められる機会を設ける。</p> <p>③SNS関連の多様な内容の学習会を実施する。SC、SSWの活動を整理し、かながわサポートドックやいじめアンケート等を整理し計画的に実施する。</p>	<p>①②学校行事の実施において感染防止対策等工夫し、生徒・保護者にとって有意義なものであった。今後も安全に配慮し、部活用や委員会を通じて指導をしていただきたい。</p> <p>③令和5年度は、SC、SSWが週1回配置され、教育相談体制の充実が図られた。また、かながわサポートドックが実施され、生徒の個に応じた指導・支援がきめ細かく行われた。今後も制度を活用し教育相談の一層の充実をお願いしたい。</p>	<p>①学校行事・生徒会活動を通して、主体性及び自他を尊重する態度の育成という目標に向けて支援し、リーダーの育成につなげた。文化祭・体育祭・球技大会などの学校行事を、感染症防止対策を講じて進めた。</p> <p>②顧問総会や部長会を通して、傷病予防、熱中症対策、感染症防止対策を充実させ、安全面に配慮した活動や運営を支援した。</p> <p>③性に関する、薬物乱用防止、自転車安全、携帯安全に関する講演会、学習会を実施した。SC、SSWの利用はそれぞれ90、62回であり、多くの生徒が活用した。サポートドックを2回実施し、課題のある生徒について、各学年団と情報を共有した。プッシュ型相談をいかに充実させるかが課題である。</p>	<p>①生徒の環境委員や交通安全委員等の活動を充実させ、生徒主体の意識を高める。また、広報 ICTグループと共に、生徒の委員会等と大津小学校との連携を計画する</p> <p>②定期的に部長会を開催し、施設使用についてのルールを徹底させる。</p> <p>③引き続き SC、SSWが配置されるので、特にSSWを効果的に活用できるよう、教職員の理解を図るための研修等を行う。</p>

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月8日実施)	総合評価(3月22日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3 進路指導・支援	<p>①進路や将来の展望に対する、自己の高みを目指した目標設定及びその実現への支援を図る。</p> <p>②教育情勢を的確に把握し、適切な情報の収集と周知、共有に努めるとともに、組織的な支援体制を構築する。</p>	<p>①学習活動充実の相乗効果を狙うため、その原動力となる目標の設定を支援し実現につなげる。</p> <p>②学年ごとに必要な情報を精査し、効果的に生徒に伝授するとともに、学校全体で情報を共有する仕組みを強化し、進路内容と各教科の学習内容のリンクを図り、指導につなげる。</p>	<p>①アプリ等の利用も含め模試等のデータ分析結果と展望を記録させ、軌跡を確認することで自己の成長を実感させる。</p> <p>②信頼できる情報の入手に努め、共有する場面を増やす。</p>	<p>①生徒が自分の向上を実感し、年度末に次の「高みを目指した目標」を立てられたか。</p> <p>②模試分析会や学年会等の一層の利用を通し、各教科の進路指導状況が他教科や学年にも伝わったか。</p>	<p>①可能な限りデータを一元化した。生徒個々が、随時利用しやすく自己分析や目標設定のサポートとなった。</p> <p>②情報の精選に努め、入試を折りまく現状を伝えることができた。学年、教科の縦横断的な共有ができた。</p>	<p>①1, 2学年のうちから、自己の目標を臆せず表明できる自信を持たせるよう支援する。</p> <p>②理科、地歴公民において、系統的な進路指導のより良い方策を模索する。</p>	<p>①3年間の計画的な進路指導により、高い目標を掲げ、努力する生徒が増えてきており、後輩への励みになっている。</p> <p>②模擬試験分析会や業者が配信する情報等を適切に活用し、生徒の進路学習を支援していただきたい。</p>	<p>①進路情報等に関するデータを一元化することで、生徒が効果的に活用し、自己分析や目標設定のサポートとなった。</p> <p>②情報の精選に努め、入試を折りまく現状を教職員が共有し、生徒への指導・支援に活かすことができた。教科ごとの詳細を充実させていくことが課題である。</p>	<p>①3年間を見通した進路指導を一層充実させるため、1, 2年生へ最新の進路情報や卒業生の進路状況を丁寧に説明する。</p> <p>③教科等横断的に系統的な進路指導ができるよう、有識者のアドバイスをもらう機会を設ける。</p>
4 地域等との協働	<p>①生徒に地域の一員であるという意識を持たせ地域と協働することで信頼される学校づくりを行う。</p> <p>②「いのちを守る」ために主体的に行動する態度の育成を目指した防災教育を実践する。</p>	<p>①近隣町内会やPTA、生徒支援グループと協力して、生徒が安心して学校生活を送れる環境を整える。</p> <p>②主体的に行動する態度の育成を目指した防災教育を実践する。</p>	<p>①PTA、生徒支援グループと協働で、登校時の交通安全指導、自転車空気圧点検、ステッカー点検を行う。</p> <p>②自主的な避難経路の確認を複数回行う。防災備蓄品の管理場所についての共有を行う。</p>	<p>①PTA、生徒支援グループと交通安全指導ができたか。自転車空気圧点検、ステッカー点検を行えたか。</p> <p>②自主的な避難経路の確認が行えたか。防災備蓄品についての共有を得られたか。</p>	<p>①PTA、生徒支援グループと協力して、交通安全指導を2回、自転車空気圧点検、ステッカー点検を1回行った。</p> <p>②学年別の訓練を行い、避難経路を確認した。LHRにて、自宅付近や登校経路の危険箇所を確認した。防災備蓄品の場所を共有した。</p>	<p>①雨天により、自転車空気圧点検とステッカー点検を、交通安全指導とは別日程で行った。予備日を適切に設定しておく必要がある。</p> <p>②全校一斉の訓練が行えなかったため、次年度は実施を検討する。防災備蓄品を保管する場所の確保が課題である。</p>	<p>①②PTAは挨拶運動、自転車点検等とおして学校と連携が取れた。次年度は、町内会と高校が連携した取り組みを実現したい。横須賀市や小学校と連携した防災訓練等を地域から提案したい。</p>	<p>①PTA、生徒支援グループと協力して、交通安全指導を2回、自転車空気圧点検、ステッカー点検を1回行った。予備日の設定が必要であった。</p> <p>②学年別の訓練を行い、避難経路を確認した。LHRにて、自宅付近や登校経路の危険箇所を確認した。防災備蓄品の場所を共有した。</p>	<p>①PTAと連携した交通安全指導、自転車空気圧点検、ステッカー点検については、雨天プログラムを工夫する。</p> <p>②全校一斉の防災訓練を実施する。町内会と連携した防災訓練等を計画する。また、活動支援グループと共に、生徒の委員会等と大津小学校との連携を計画する。</p>
5 学校管理 学校運営	<p>①施設、設備の管理を徹底し、生徒の学習環境をより向上させる。</p> <p>②学校全体で校内美化に取り組み、生徒自身に環境整備に参画する意識を持たせる。</p>	<p>①施設・設備の日常点検を行い、必要に応じて改善や修理を進め、生徒の学習環境向上を図る。</p> <p>②環境整備活動を多く設定し、環境に対する生徒の意識を高め、日常の清掃をはじめとする美化活動に積極的に取り組む態度を育成する。</p>	<p>①安全で使いやすい学習環境を整えるために、日常的に点検を行い、修理や改善、物品の補充等を適切に行う。</p> <p>②日常の清掃活動、私物の管理整頓、ごみの持ち帰り、環境委員による校内外の清掃活動を実施する。</p>	<p>①定期的な施設・設備の日常点検を行い、修理や改善を適切に行えたか。</p> <p>②校内の清掃状況や生徒の私物の整理状況が改善されたか。環境委員の活動状況と校内外のごみの状況が改善されたか。</p>	<p>①定期的に施設・設備の日常点検を行い、修理や改善を適切に行った。必要に応じて靴箱、机等を更新した。</p> <p>②生徒・教職員の役割分担を作成し、ごみの持ち帰りを基本とする清掃を実施した。環境委員による校外清掃やごみ箱設置に関する意見集約や検討を行った。</p>	<p>①購入した机や椅子の保管場所の確保が課題である。</p> <p>②校内美化に関する生徒の意識をさらに深める。特にごみの分別の徹底と生徒、教員の理解を深める。新しいトイレの清掃方法の周知徹底や清掃分担の見直しを行う。</p>	<p>①②3年間にわたって行われたトイレ改修工事により、生徒の学校生活環境が改善された。創立120周年を迎えるにあたりまなびや基金やガバメントクラウドファンディングの活用等準備に尽力されている点は評価できる。教職員やPT等協力して環境整備を進めていただきたい。</p>	<p>①定期的に施設・設備の点検を行い、修理や改善を適切に行った。創立120周年を迎えるにあたり、今後は中庭の整備を進める。</p> <p>②生徒・教職員の役割分担を作成し、ごみの持ち帰りを基本とする清掃を実施した。環境委員による校外清掃やごみ箱設置に関する意見集約や検討を行った。</p>	<p>①120周年準備委員会(仮名称)を立ち上げ、施設整備の計画をたてる。</p> <p>②引き続き清掃指導を行い、特にトイレ清掃の方法を周知し分担の見直しを行う。環境整備を行う。</p>